

令和6年9月17日 佐藤

～ 秋の気配漂う夜の園内で、箏の音色や絵行灯の明かりを楽しめる貴重な3日間 ～

向島百花園で「月見の会」を開催中

四季折々の草花を楽しむことができる下町の名勝、都立向島百花園（墨田区東向島3-18-3）では、9月16日（月・祝）から18日（水）までの3日間、開園時間を21時まで延長し、秋の気配が漂う園内で、箏（そう）の音色や絵行灯の明かりを楽しむことができる「月見の会」が開催されています。あわせて、9月14日（土）から10月1日（火）までの期間は、『向島百花園萩まつり』も同時開催しています。

初日となった16日には、園内でお供え式や、篠笛の演奏が行われました。また、月見の会開催期間中は、絵行灯の点灯や、箏の演奏、茶会なども行われ、数多くの草花に囲まれた風光明媚な園内では、国内外から訪れた多くの来場者が、まるで過去からタイムスリップしたかのような雰囲気を楽しんでいました。

来場者は「初めて来たが、とても静かで心洗われるような感覚。今度は昼間にも来てみたい。」「浴衣を着てお出かけしたいと思っていたら、ちょうど月見の会が開催されていることを知って来場した。行灯に照らされた園内が素晴らしい雰囲気、とても楽しむことができた。」などと感想を話していました。

また、同時に開催されている萩まつり名物の「萩のトンネル」は、「ミヤギノハギ」と「シロバナハギ」の2種類が、アーチ状に組まれた竹を覆うように誘引され、見事なトンネルを形づくっています。トンネルは、長さ約30m、高さ約2m、幅約1.6mと、大人2人が並んで歩いても余裕があるほどの大きさ。トンネル内でも雰囲気のある行灯が点灯されており、今年も、「萩のトンネル」は見応えがあるものになっています。9月下旬から10月初旬にかけて見頃を迎えるとのことです。

「萩のトンネル」だけでなく、園内で俳句を詠むイベント「萩を詠む」（期間中毎日開催）や、三味線の演奏とともに園内の植物を楽しむことができる「新内流し」（22日開催）や「茶会」（21・22日開催）など、さまざまな催しも行われます。また、萩だけでなく、珍しい秋の草花もたくさん見ることができ、植物を通して歴史や文化にも触れることができます。一足早い秋を感じに、ぜひご来場ください。

〈写真〉

「月見の会」「萩まつり」の様子（9/16撮影）



《概要》向島百花園月見の会・萩まつり <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/07/03/06.html>

【向島百花園 月見の会（後援：墨田区）】

期間：9月16日（月・祝）～9月18日（水）

時間：9時00分～21時00分（入園は閉園30分前まで）

《催し》 お供え式 雨天中止

日時：9月16日（月・祝） 17時00分～17時30分 演奏：坂本 真理 氏（横笛奏者）

箏の演奏 雨天中止

日時：期間中毎日 18時00分～20時00分 演奏：栗田社中

茶会

日時：9月16日（月・祝）、17日（火） 15時00分～20時00分（各回30分程度）

絵行灯の点灯 雨天中止

日時：期間中毎日 17時50分～21時00分

【向島百花園 萩まつり（後援：墨田区）】

期間：9月14日（土）～10月1日（火）

時間：9時00分～17時00分（「月見の会」期間中は21時まで開園）（入園は閉園30分前まで）

《催し》 萩を詠む 9時00分～17時00分（期間中毎日実施） 雨天中止

野草ウォッチング 雨天中止

日時：9月21日（土） 11時40分～、14時40分～（各回1時間程度）

講師：若林 芳樹 氏（植物研究家） 参加費：無料 定員：各回20人

新内流し 雨天中止

日時：9月22日（日・祝） 11時30分～、14時30分～（各回30分程度） 出演：勝新派社中

茶会

日時：9月21日（土）、22日（日・祝）

10時00分～15時00分（各回30分程度）（最終受付14時30分）

費用：1席1,000円（入園料別途 / 抹茶が無くなり次第終了） 協力：向島百花園茶会

《参考》都立向島百花園

所在地：墨田区東向島3-18-3

開園時間：9時00分～17時00分（入園は16時30分まで）

入園料：一般150円 65歳以上70円（小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料）

9/15～9/21は、シルバーウィークにつき、60歳以上と付き添いの方1名が無料

《問合せ》都立向島百花園 03-3611-8705

お問合せは午後5時までをお願いします。（広報広聴担当 03-5608-6220）